



インプラント治療の流れ

ーカウンセリングー

① 問診・カウンセリング

口腔内検査・口腔内写真・CT撮影・口腔内模型の型取り
診査・診断、及び治療計画説明
治療計画、治療方針への同意



災害に強いクリニック

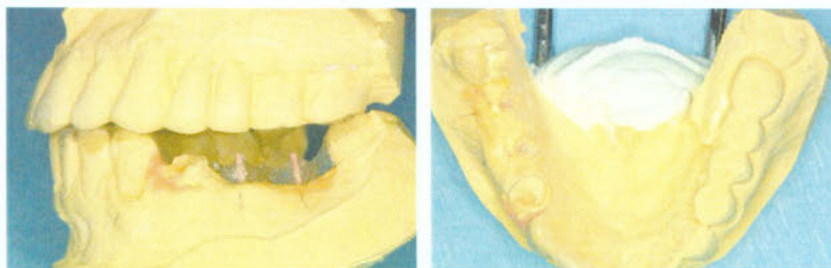
CTには蓄電池電源が標準装備されています。

災害時でも、クリニックの機能を平時と変わらず提供いたします。

口腔内の型取りをした後には、このような模型が出来上がります。模型ひとつ取っても、患者様の口腔内の状況を緻密に再現するため、ひとつひとつの作業を丁寧に行っていく必要があります。



また、インプラント埋入前には、このように、どこにインプラントを埋入するのかシミュレートする模型も作製します。その他、インプラント治療を始めるにあたり、様々な準備を行います。このような綿密な計画を立て、インプラント治療を行う医院は他にありません。ですが、この細かな作業こそがとても重要となってくるのです。





- —インプラント治療開始(1次手術)—

術前処置

インプラント埋入手術

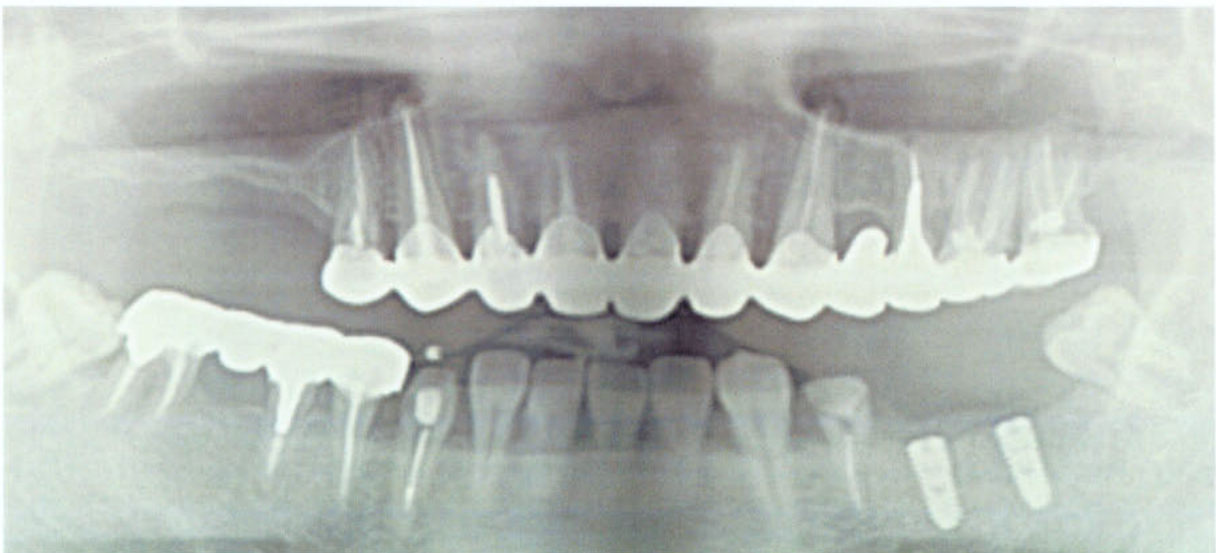
術前処置では、手術に関するDVDを観て頂いたり、麻酔を行ったりします。

インプラント埋入は実際、インプラント1本あたり15分程度ですみます。

インプラント埋入前



インプラント埋入後



- —治癒期間—

1次手術の後、通常1ヶ月～2ヶ月の治癒期間をおきます。

(骨の状況によって治癒期間が延びる場合もある。)



- **—2次手術—**

骨とインプラントが結合して安定した後に、人工歯を取り付ける為の部品（アバットメント）を連結し、歯茎から露出させます。その後、この状態で歯茎が治癒するまで通常1週間から4週間置きます。

この時点で、一旦リハビリ用の歯も装着される為、噛めるようになっています。

この「リハビリ用の歯」がインプラント治療にはとても重要なポイントです。

完成前の段階で噛めるようになることは勿論のこと、全体的な噛み合わせを診るためにも、とても重要な役割を果たしてくれるものなのです。

また、この「リハビリ用の歯」の作製には、事前に作製しておいた模型の出来不出来もかかわってくるため、全てが綿密な計画のもと一連の流れとして患者様一人一人、しっかりと計算されているのです。



- **—歯冠となる上部構造の作製—**

歯茎が治った時点で型を取り、上部構造を作製していきます。

この時点で、患者様の希望に合わせて色味や形を決めます。

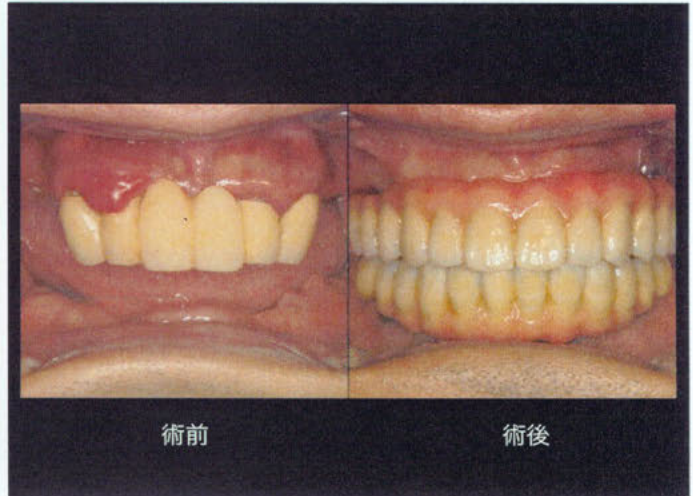
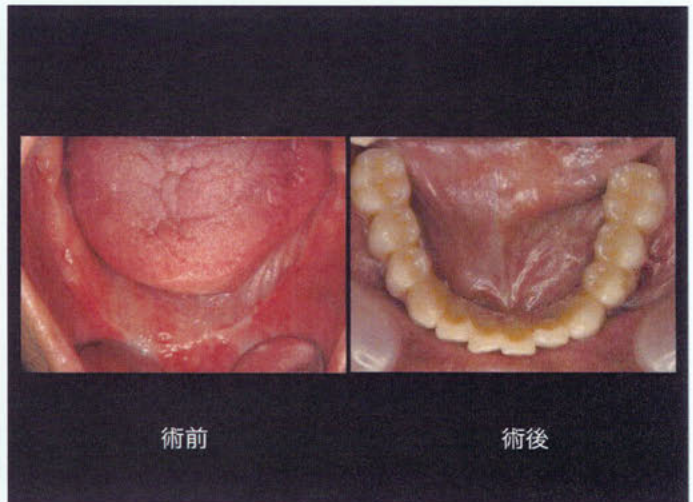
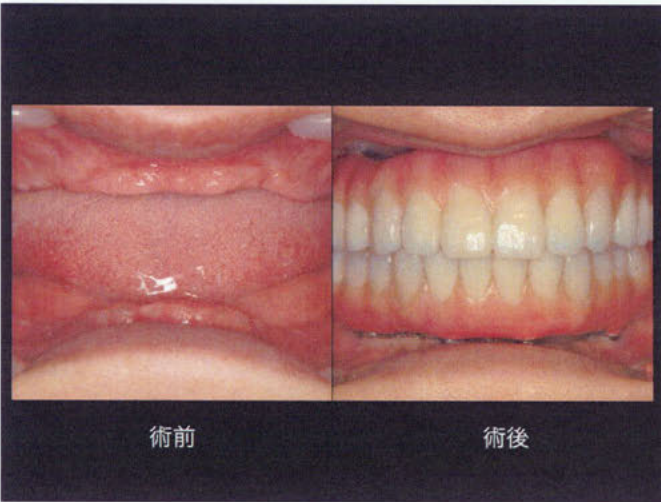
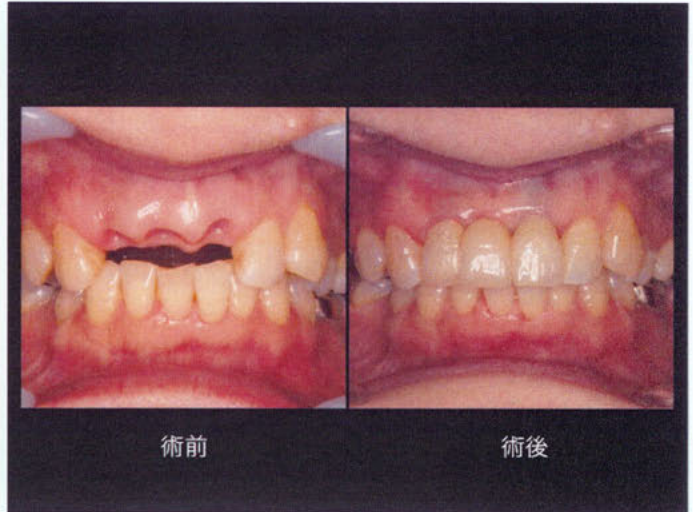
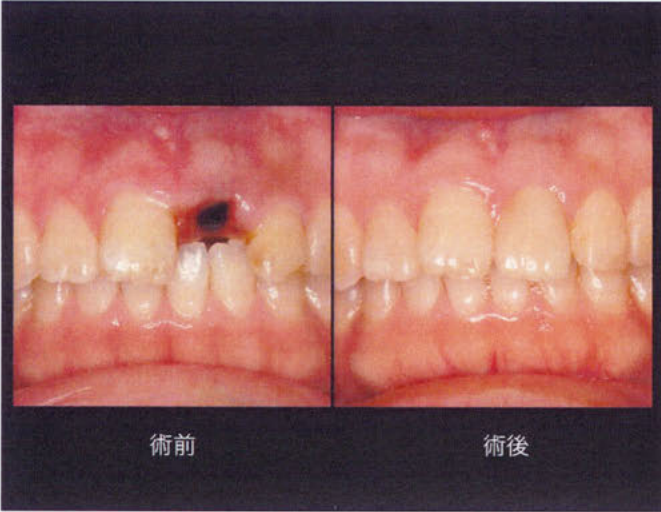
既にリハビリ用の歯を装着してお過ごし頂いているので、その形に合わせて最終の歯を作製していきます。

- **—完成—**

完成した人工歯（上部構造）を装着して治療終了です。



症例一覽





術前



術後



術前



術後



術前



術後